下山中学校区 地域カルテ

- I.地域の基礎データ
- 1.中学校区の概要

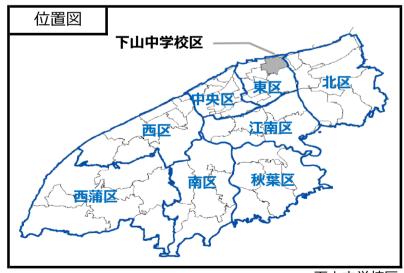
東区の北東部、阿賀野川の河口に位置しており、新潟の空の玄関口として親しまれている新潟空港を有しています。下山、津島屋地域を除く大部分は、半世紀前は砂丘で松林でしたが、現在はほとんど住宅街になっています。地域内には国道113号が通っており、市内中心部への交通アクセスが良好な地域です。

下山地区はねぎやチューリップの産地でもあります。特に白い部分が 長く艶やかで柔らかさが自慢の新潟のねぎは「やわ肌ねぎ」というブラ ンドで親しまれています。また、新潟空港の利用促進と空港と一体と なったまちづくりを目指して、同空港ターミナルビルを花絵で飾る取り 組みが行われています。

東区と北区を結ぶ松浜橋上流付近で、毎年8月に阿賀野川両岸に県内外から20万人の観客を集める阿賀野川ござれや花火が開催されます。二尺玉やスターマイン、水中花火などで好評を博しています。

コミユニナイ協議会※	
下山地区コミュニティ協議	会
小学校	
下山小学校	

※中学校区の区域とコミュニティ協議会の区域は必ずしも一致しない。



下山中学校区

Ⅱ.人口データ

1.人口・世帯数(住民基本台帳)

(人) (世帯) (人) 1世帯当たり

	心。女人	5	×	U~14成	13点% ~ 04点%	口分成以上	うち75歳以上	巴市奴	世帯人員
2011年	13,141	6,515	6,626	1,715	8,249	3,177	1,446	5,177	2.54
2011—	13,171	49.6%	50.4%	13.1%	62.8%	24.2%	11.0%	3,177	2.54
2016年	12,698	6,211	6,487	1,586	7,360	3,752	1,773	5,252	2.42
20104	12,090	48.9%	51.1%	12.5%	58.0%	29.5%	14.0%	3,232	2.72
増減	-443	-304	-139	-129	-889	575	327	75	-0.12
2⊟ //₩	-3.4%	-4.7%	-2.1%	-7.5%	-10.8%	18.1%	22.6%	75	0.12

2.人口推計

	総数	男	女	0~14歳	15歳~64歳	65歳以上	うち75歳以上
2021年	12,084	5,844	6,240	1,472	6,702	3,910	2,023
20214		48.4%	51.6%	12.2%	55.5%	32.4%	16.7%
2026年	11,321	5,414	5,907	1,277	6,288	3,756	2,343
2020-		47.8%	52.2%	11.3%	55.5%	33.2%	20.7%
2031年	10,499	4,969	5,530	1,132	5,822	3,546	2,331
2031-		47.3%	52.7%	10.8%	55.4%	33.8%	22.2%
2036年	9,662	4,533	5,129	1,039	5,251	3,372	2,091
2030-		46.9%	53.1%	10.8%	54.3%	34.9%	21.6%
2016-2036	-3,036	-1,678	-1,358	-547	-2,109	-380	318
増減	-23.9%	-27.0%	-20.9%	-34.5%	-28.7%	-10.1%	17.9%

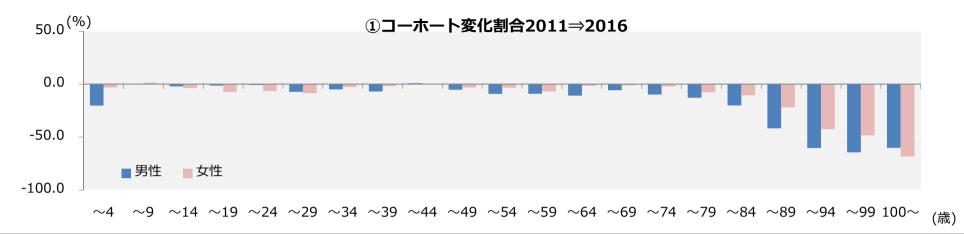
[○]人口は、2016年の12,698人から2036年には9,662人と23.9%減少する。

[○]老年人口は、2021年に3,910人でピークを迎え、その後2036年に3,372人となる。老年人口割合は29.5%から34.9%に増加する。

[○]年少人口は、2016年の1,586人から2036年には1,039人となり、34.5%減少する。

[○]生産年齢人口は、2016年の7,360人から2036年には5,251人となり、28.7%減少する。

3.人口推計グラフ

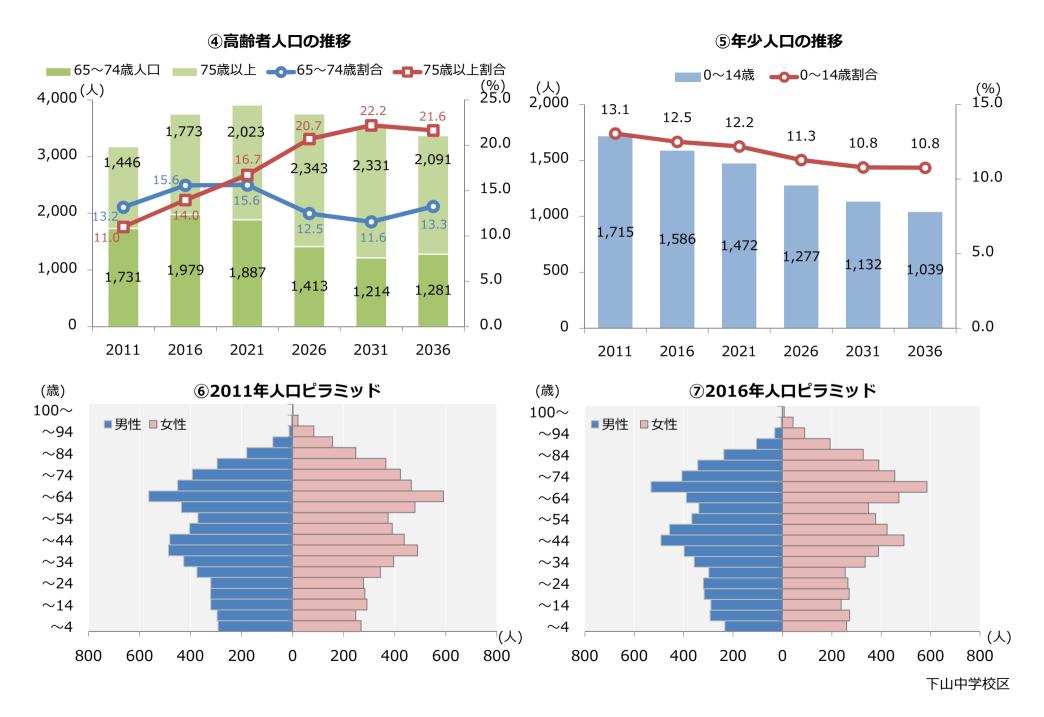


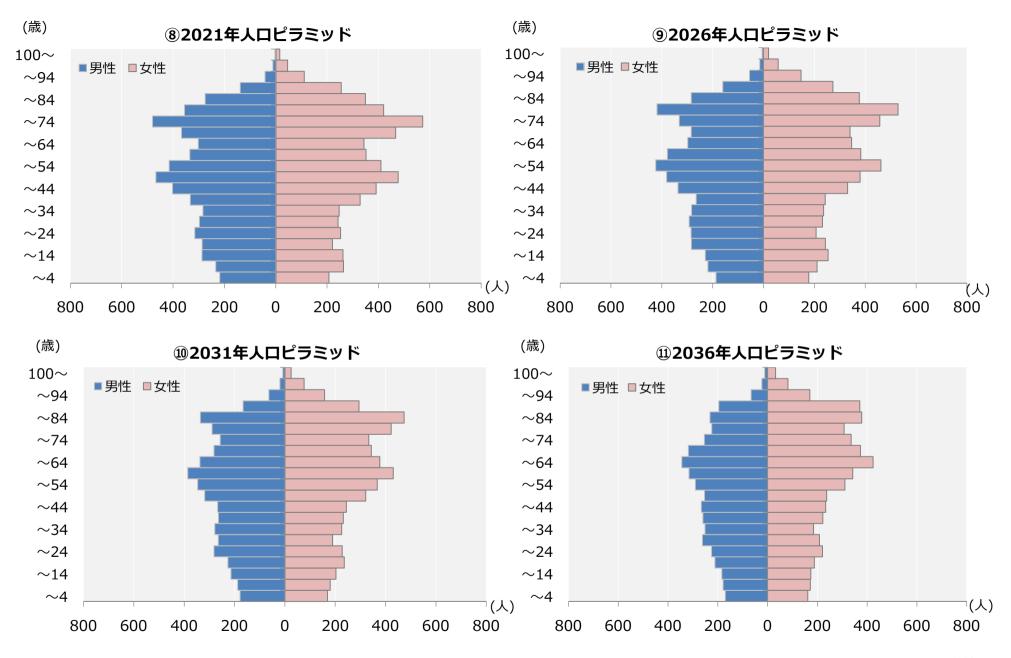
○0~4歳の年代において、男性の変化割合が2割以上のマイナスとなっている。

○5~9歳及び40~44歳の年代を除き、概ねすべての年代で男女ともマイナスとなっている。



下山中学校区

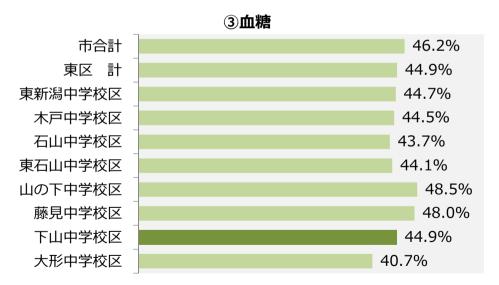




下山中学校区

Ⅲ.健康データ(平成27年度新潟市国民健康保険・新潟県後期高齢者医療保険・協会けんぽ健診データ)

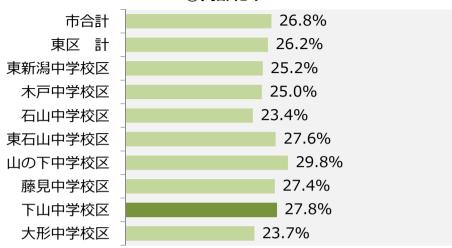




- ※国民健康保険・後期高齢者医療保険: HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)5.6%以上協会けんぽ: 空腹時血糖100mg/dl以上
- HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)

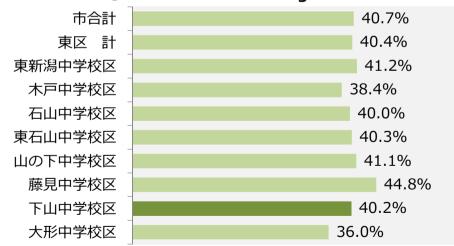
過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われています。

②高齢化率



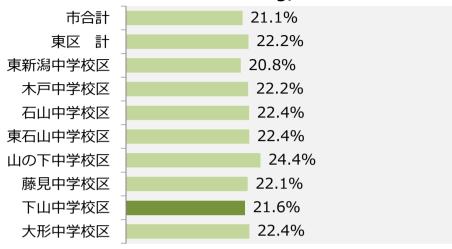
※平成27年9月末時点の住民基本台帳人口を基に算出

④血圧(収縮期130mmHg以上)



下山中学校区

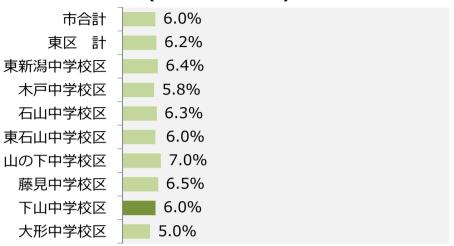
⑤脂質(中性脂肪150mg/dl以上)



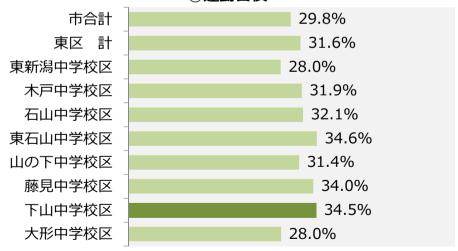
⑦喫煙 市合計 18.1% 東区 計 19.6% 東新潟中学校区 20.0% 木戸中学校区 20.1% 19.8% 石山中学校区 東石山中学校区 18.4% 山の下中学校区 19.8% 藤見中学校区 17.9% 下山中学校区 18.1% 大形中学校区 22.7%

※現在、たばこを習慣的に吸っていると回答した人の割合

⑥3項目(血糖・血圧・脂質)重複該当



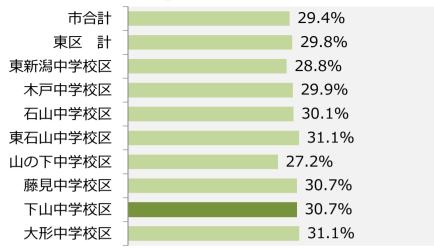
8運動習慣



※1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上、 1年以上実施していると回答した人の割合

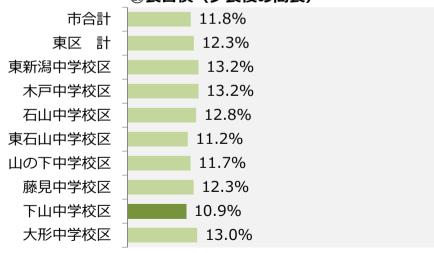
下山中学校区

⑨飲酒頻度(毎日)



※お酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度は [毎日] と回答した人の割合

⑩食習慣(夕食後の間食)



※夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが 週に3回以上あると回答した人の割合

⑪患者予備群、治療放置群等(国保・後期高齢)

	健診 対象者数 (国保+ 後期)	未	巴握		通院 予備群 女置群
	人数	人数	構成割合	人数	構成割合
東新潟中学校区	8,800	3,013	34.2%	441	5.0%
木戸中学校区	6,802	2,228	32.8%	327	4.8%
石山中学校区	5,211	1,841	35.3%	240	4.6%
東石山中学校区	6,555	1,955	29.8%	308	4.7%
山の下中学校区	6,453	1,994	30.9%	225	3.5%
藤見中学校区	5,802	1,840	31.7%	212	3.7%
下山中学校区	4,302	1,308	30.4%	182	4.2%
大形中学校区	4,514	1,472	32.6%	182	4.0%
東区計	48,439	15,651	32.3%	2,117	4.4%

※平成27年度の国保+後期高齢の健診対象者(40歳以上)の状況

未把握・・・健診未受診及び生活習慣病の受診がない

未通院・・・健診において下記項目のいずれかに該当し、医療機関で 診察又は治療の必要があるが、同年中に生活習慣病の受診がない

・血糖:126mg/dl以上又はHbA1c6.5%以上

・血圧: 140又は90mmHg以上 ・中性脂肪: 300mg/dl以上

・LDLコレステロール: 140mg/dl以上 ・HDLコレステロール: 35mg/dl未満

■LDLコレステロール

全身の組織へコレステロールを運ぶ働きをしているが、多すぎると動脈硬化を すすめるため、悪玉コレステロールとも言われる。

■HDLコレステロール

善玉コレステロールともいわれ、血管壁に沈着したコレステロールを取り除き 肝臓に戻す働きがあり、少ないと動脈硬化をすすめるが、多すぎても問題があ るといわれている。

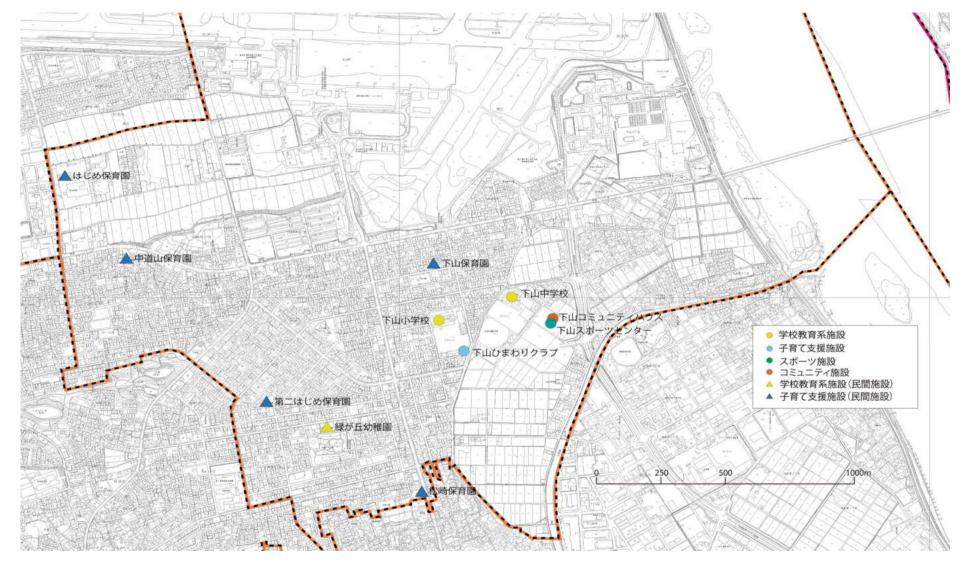
Ⅳ.施設データ

1.施設一覧

			施設基本情報				避				分析			
施設分類	施設名	複合 施設 ※2	建築年		使用面積 (㎡)	難所	コスト 実績(全市平均)		利用率・利用量 実績(全市平均)			領域 ※3		
コミュニティ施設	下山コミュニティハウス	Α	H20			467.55		233.0	円/人/回	(928.0)	38.6	%	(26.3)	1
スポーツ施設	下山スポーツセンター	Α	H20			2,811.42		681.0	円/人/回	(794.9)	14.4	人/100㎡/日	(6.0)	1
学校教育系施設	下山小学校		S41	~	H25	8,491.18	0	45.3	万円/人/年	(81.3)	11.9	㎡/人	(24.1)	1
学校教育系施設	下山中学校		Н1	~	H15	7,259.06	0	69.5	万円/人/年	(88.5)	19.5	㎡/人	(28.5)	1
子育て支援施設	下山ひまわりクラブ		H1	~	H18	163.33		8.8	万円/人/年	(13.9)	1.3	㎡/児童数	(2.7)	1

- ※1 平成28年度財産白書(平成27年度決算ベース)から引用
- ※2 アルファベットが同じものは複合施設
- ※3 分析領域の番号は下記項目のとおり
 - 1.コスト状況、利用状況ともに相対的に良好な施設
- 2.相対的にコストは安いものの、利用が少ない施設
- 3.相対的にコストが高いものの、利用が多い施設
- 4.相対的に高コストかつ、利用が少ない施設

2.施設位置図



※校区の線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。